

## 三条看護・医療・歯科衛生専門学校 GPA (Grade Point Average) について

科目の成績評価 (A、B、C、D) に対して、それぞれの評価区分に応じたGP (Grade Point) を付加し、以下の算出方法にて成績を平均化したGPA (Grade Point Average) による客観的な成績分布状況を把握する。

### 【GPA対象科目】

以下の「適用除外科目」を除くすべての授業科目 (学則別表 2 に定める科目) をGPA対象とする。

「適用除外科目」

- ① 編入または転入学 (他科への転科も該当) により単位認定される科目
- ② 入学前に修得し、申請により単位認定される科目
- ③ 他大学等との単位互換等で修得した科目
- ④ コース選択により、すべての学生が同一内容で履修を行わない選択科目
- ⑤ 外部実習やインターンシップなど成績評価者が実習先ごとに異なる科目

### 【成績評価の表示記号とGP (Grade Point) の付加】

GPAは表示記号に応じた以下の点数方式で行い、それぞれの評価区分に応じたGPを付加する。

評価区分	評定表示	GP
80点以上	A	3
70点以上80点未満	B	2
60点以上70点未満	C	1
60点未満	D	0

### 【GPAの算出方法】

GPA対象授業科目のうち、履修した科目についてそれぞれの単位数にGP (3, 2, 1, 0) のいずれかを掛け、その合計ポイントを、単位数総和で割ったものとする。

<算出方法の例>

科目名	単位数	評定	GP	合計GPの算出
●●●学	2	B	2	$2 \times 2 = 4$
●●●実習	3	A	3	$3 \times 3 = 9$
■■■■演習	1	C	1	$1 \times 1 = 1$
■■■■論	2	D	0	$2 \times 0 = 0$

上記の場合、(a)単位数合計8、(b)合計GP 14となるため、

$GPA = (b) \div (a) = 14 \div 8 = 1.75$  (小数点第3以下を四捨五入)

- ※1) 不合格評定「D」の科目はGPA算出上の単位数合計に含める。
- ※2) GPA計算は小数点第3位以下を四捨五入するものとする。
- ※3) 不合格科目を再履修し、合格評価を得た場合または再び不合格の評価であった場合の、それぞれ再履修前の不合格評価については、通算のGPAには算入しない。ただし、年度ごとに算出するGPAにはそれぞれ算入する。

### 【GPAによる成績分布の把握と利用】

学生個人のGPAは学期末に上記の方法により算出し、成績分布の状況を把握する。成績分布結果は、学生の学修指導および自律的な学修意欲向上に活かすことはもちろん、全学的な視点でも統計的に分析し、教員個々の評価基準の修正、評価の相対化をならすために活用する。

「客観的な指標に基づく成績の分布」について

客観的な指標の算出方法（成績評価に対するGPA算出）					
GPAの算出方法は、GPA対象科目のうち履修した科目の成績評価（A,B,C,D）に応じたGP（A=3, B=2, C=1, D=0）を付加し、それに科目単位数を掛けて合計したポイントを単位数総和で割ったものとする。					
学科名	〇〇〇〇科	学年	1	学生数	40
GPAの分布状況					
指標数値	1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上
人数	0	6	10	14	10
備考)					